



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	若手研究者の越境力・融合力を培う広報動画制作の試み
Author(s)	飯塚, 理恵; 森岡, 和子; 澤田, 真理子 他
Description	RA協議会第9回年次大会 : RA2.0~定着 その先へ~. 2023年8月8日(火) - 8月9日(木). 主催: リサーチ・アドミニストレーション協議会. 東京たま未来メッセ (東京都立多摩産業交流センター). 東京都八王子
Issue Date	2023-08-08
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/96180
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/
Type	conference poster
File Information	2023RA_P-56_RA9th2023.pdf

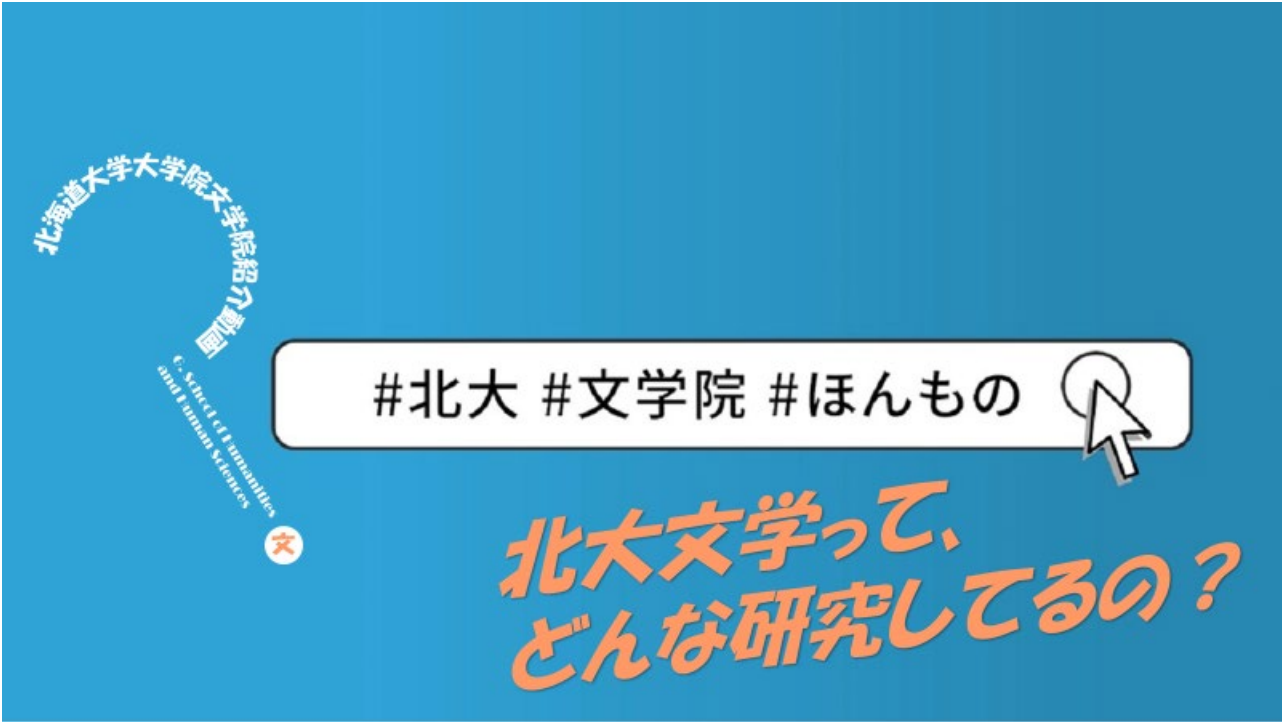




若手研究者の越境力・融合力を培う広報動画制作の試み

P56

北海道大学文学研究院 研究推進室 ○飯塚理恵 森岡和子 澤田真理子 加藤美樹



北大文学 #ほんもの 動画 🔍 検索



3分半です。
ぜひご覧ください。

なぜ、動画？

- ◆若い世代に馴染みがある
- ◆シェアが容易
- ◆リアルな表情を伝えられる
- ◆研究成果を映像で表現するスキル向上
- ◆撮影者と被撮影者のネットワーク構築

概要

北海道大学文学研究院・文学院で行われている研究活動の一端を紹介することで北大文学の魅力を発信し、優秀な大学院生を呼び込むことを目的に、2022年度に「#ほんもの」をテーマとした3分半の動画を制作。

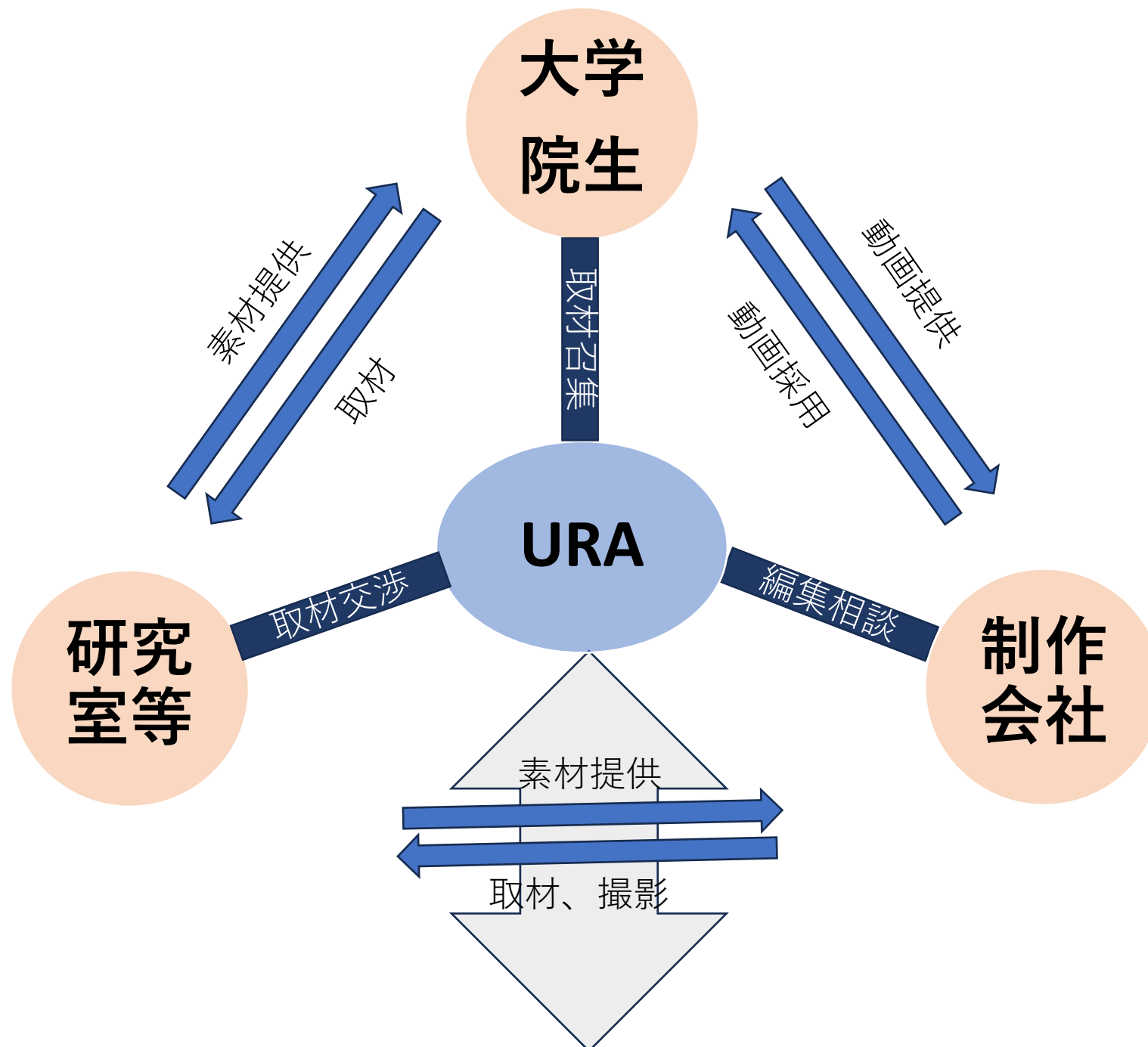
URAが中心となり、**若手研究者（大学院生）**、**教員**、**制作会社**を巻き込んだプロジェクトとして推進することで、単なる広報物の制作に留まらず、若手研究者に必要な**越境力**、**融合力**の育成に寄与することを目指した。

「#ほんもの」とは？

北海道大学文学研究院・文学院に在籍する100名を超える教員と380名の大学院生が感じている研究の魅力、醍醐味、社会的意義や、他にはない貴重な史料、実験手法、研究成果などを「**#ほんもの**」というキーワードで表現し、動画のテーマとした。

 **実は、、、**
数年前より動画制作の企画はあったものの、コロナ禍により延期になっていました。「マスク姿の映像を使うのはいかななものか？」という懸念があったためです。しかし、とにかく一步を踏み出そう！という執行部の意思決定により、動画制作が決まりました。

制作体制



教員組織	デジタルコンテンツワーキンググループ（広報委員会） 動画の内容確認、コメント
	執行部 動画制作の決定、完成動画の確認

作業分担

◆URA

- ✓ 各研究室、インタビュー対象者、教養深化プログラム、人間知・脳・AI研究教育センター、書香の森企画展示担当者への取材交渉
- ✓ 大学院生撮影チームへの取材召集
- ✓ アルバイト学生への業務指示
- ✓ 編集作業用Instagram開設
- ✓ 制作会社との連絡調整
- ✓ 使用素材の選定
- ✓ デジタルコンテンツWGへの確認依頼および制作会社へのフィードバック

◆制作会社（株式会社スペースタイム）

- ✓ ディレクション
- ✓ プラットフォーム（Googleサイト）制作
- ✓ インタビュー取材
- ✓ 動画編集

◆大学院生

- ✓ 取材
- ✓ ショート動画投稿

◆研究室、教育プログラム、関連組織

- ✓ 素材提供
- ✓ 取材対応
- ✓ 学外機関との連絡調整
- ✓ 動画の校正

制作スケジュール



準備フェーズ	制作フェーズ	活用フェーズ
◆執行部にて動画制作決定 ◆制作を株式会社スペースタイムに依頼 ◆キックオフミーティングをオンライン開催 ◆動画制作ワークショップ開催（6月28日） ◆動画プロジェクト広報 ◆学生撮影チーム編成	◆広報委員長より教授会にて素材提供要請 ◆URAより各研究室への素材提供依頼 ◆インタビュー対象者の決定（教員、在学生、修了生） ◆研究室取材、インタビューの日程調整 ◆取材 ◆取材以外の素材収集（文学院概要、大学院生支援プログラム、学内設備等） ◆制作会社による編集 ◆研究室、インタビュー対象者、デジタルコンテンツワーキンググループへの内容確認依頼	◆文学公式ウェブサイト ◆文学公式SNS ◆You Tube ◆大学院生募集ポスター

URA主導による協働制作体制の構築

	大学院生	研究室等	制作会社	教員組織
既存ネットワーク	各種支援実施	研究推進や広報活動での協働	ウェブサイト、広報誌、ポスター制作等	業務への助言、承認
強み	人材バンク（ASB）の存在	多彩な研究・教育活動	北大文学の強みや特長を熟知	動画制作を部局取り組みとして推進

準備フェーズ：動画制作ワークショップ

若手研究者スキルアップセミナー

動画制作 ワークショップ

参加者募集！

研究対象を動画で表現しよう！
動画撮影のレクチャーを受け
実際にスマホで撮影し
SNSで発信してみよう！

開催概要
日時 2022年6月28日（火）18:15-20:15
場所 文系6番教室
講師 中村景子氏（株式会社スペースタイム）

当日プログラム
18:15-18:45 レクチャー（動画撮影の基本）
18:45-19:15 撮りたいものを自由に撮影
19:15-19:45 Instagramに投稿
19:45-20:15 投稿作品のコメント

お申込

詳細情報

参加対象者
文学部学生（参加特典あり）
動画制作に関心がある文学部生、研究生
文学研究院・文学院教職員

★文学部生参加特典★
・ワークショップ参加者は、「若手研究者技能登録システム」（通称：アカデミック・スキル・バスケット）にて「写真撮影・ビデオ撮影・編集スキル」を認定・登録されます。
・文学院紹介動画の制作に参加できます。
・投稿動画が採用された方は、文学研究院より記念品を進呈。

お問い合わせ
文学研究院研究推進室
kenkyu@let.hokudai.ac.jp
011-706-4083
主催：文学研究院広報委員会
共催：文学研究院研究推進委員会

文学部生・専門研究員
参加特典

アカデミック・スキル・バスケット(ASB)

登録希望のみなさんへ

本日の動画制作ワークショップに参加された文学部の大学院生、専門研究員で、希望される方にはASBの「写真撮影・ビデオ撮影・編集」スキルを認定・登録します。

右記ウェブサイトより、ASB登録申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、研究推進室までご提出ください。
文学公式ウェブサイト > 学生生活 > 大学院生向け研究支援 > アカデミック・スキル・バスケット [ASB公式サイト]

すでにASB登録済みで、「写真撮影・ビデオ撮影・編集」スキルの追加登録を希望する方は、研究推進室までその旨メールにてお知らせください。

ASBでは「写真撮影・ビデオ撮影・編集」以外にも、さまざまなスキルをお持ちの大学院生、専門研究員を募集しています。この機会にぜひ他のスキル登録もご検討ください！

登録スキル例：

- ・ポスター・チラシ作成（イラスト作成を含む）
- ・イベント開催補助（受付・会場設営・撮影・ファシリテーター他）
- ・文章校正、広報誌制作
- ・ウェブサイト更新
- ・ファシリテーター
- ・通訳、翻訳（各種書類）
- ・日本語校閲（要研修受講）

【お問合せ】
文学研究院研究推進室（研究棟203室）
E-mail: kenkyu@let.hokudai.ac.jp
Tel: 011-706-4083/4023
担当：殿塚、澤田

若手研究者技能登録システム

通称アカデミック・スキル・バスケット（ASB）。通訳、翻訳、日本語校閲、ウェブデザイン、ポスター制作等さまざまなスキルをもった大学院生を登録し、業務発生時にアルバイト雇用する制度。登録時には、根拠となる語学力の証明書や、過去の実績（制作物等）を確認したうえでスキル認定を行っている。

参加者属性

文学部生、文学大学院生
他学部生、他大学院生
教職員、ポスドク



▲講師はスペースタイムの中村景子氏

開催目的

動画制作の楽しさを知り、動画制作のムーブメントを起こすことを目的に、座学と実践で学ぶワークショップを開催。自身が撮影した動画をInstagramのリール（ショートムービー）で投稿できるよう、実践的に学ぶ機会を提供。

参加特典

ワークショップ参加者にはアカデミック・スキル・バスケットの「動画制作」スキル認定。

参加者の声

- 😊インスタを通じて、動画作るのが楽しいと思えるようになりました。
- 😊短い動画でストーリーを構成する考え方や、飽きさせない方法を実例を交えて学びました。
- 😊教えてくださった内容をこれからも研究や遊びで活用したいです。

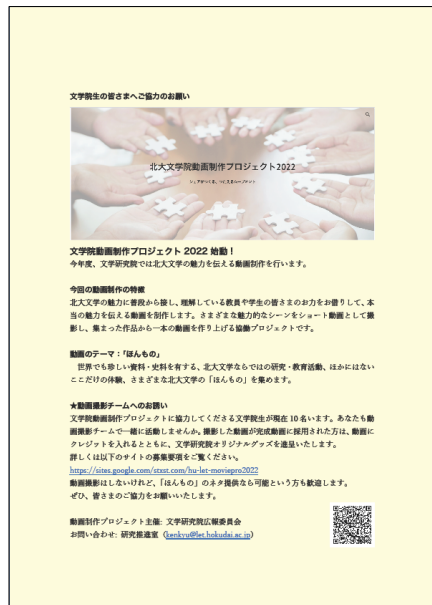


実は、、、

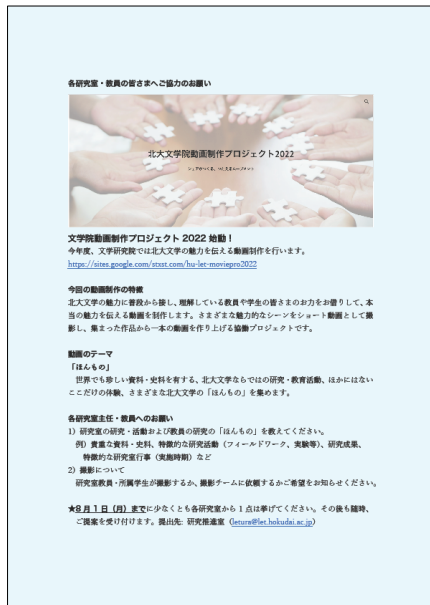
ワークショップでは、その場で撮影した素材を使ってショート動画を制作し講評を行いました。短時間でクオリティの高い動画を作る学生も複数おり、期待が高まりました。

制作フェーズ① プロジェクト告知と制作プラットフォーム

プロジェクト告知チラシ



▲学生向け



▲教員向け

アルバイト学生雇用

◆動画制作・編集スキルを有する大学院生2名を雇用し、プロジェクトのサポートを依頼

- ✓ 動画制作WSでの参加者サポート
- ✓ 取材同行
- ✓ 動画投稿
- ✓ 動画ファイル整理

👉若者らしい視点を提供してもらうことができ、
大きな戦力に

制作プラットフォーム



▲Google サイト



▲撮影スケジュール告知

◆Googleサイトを制作プラットフォームとして活用

◆掲載内容

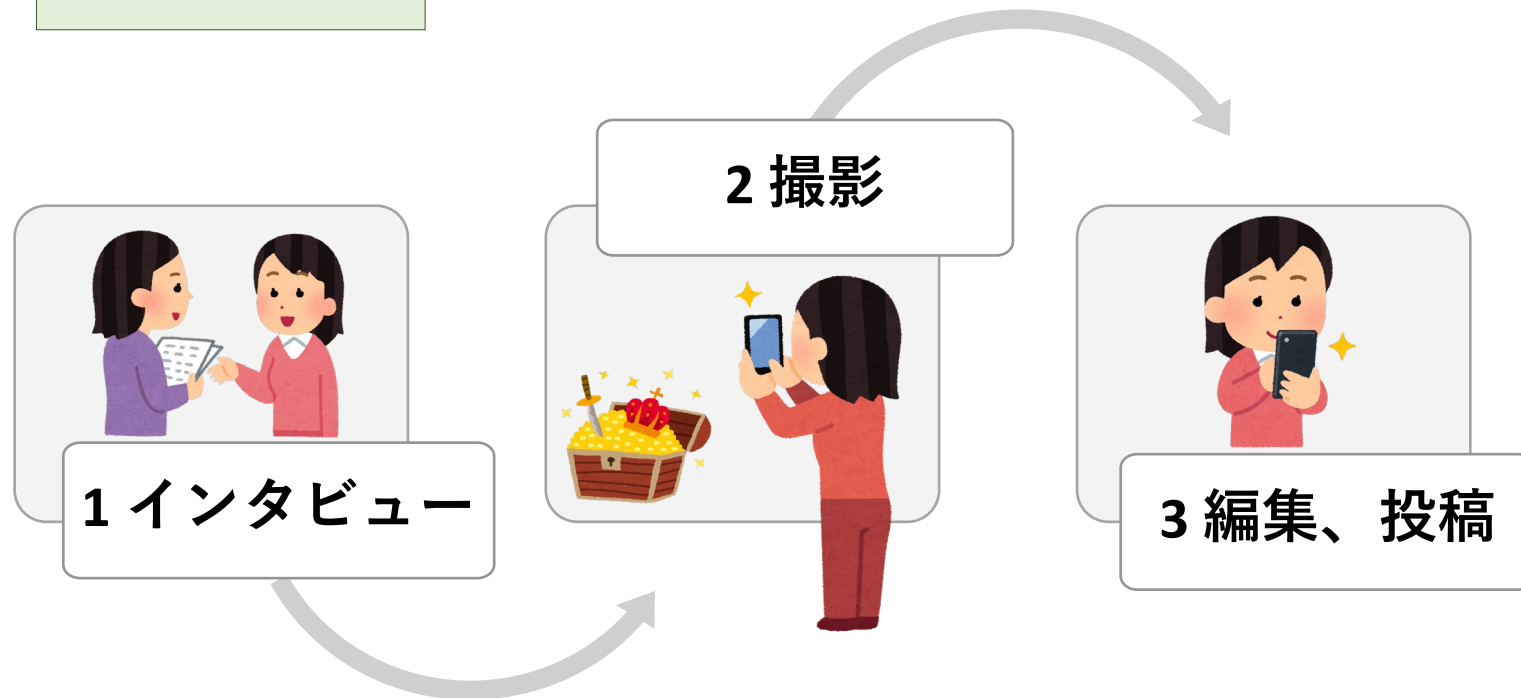
- ✓プロジェクトのミッション
- ✓募集要項
- ✓参加のステップ
- ✓撮影スケジュールの告知および撮影者の募集
- ✓動画制作ワークショップ
- ✓その他

(完成動画イメージ、動画撮影のイロハ、インスタのイロハ、シェアの効力)

④誰でも気が向いた時に参加できる緩やかな体制

制作フェーズ② 取材

取材の流れ



取材現場では、研究室の教員、院生、時には学外者にインタビュー。研究内容についてお聞きしたり、「#ほんもの」の実物を見せてもらったり。

その研究室内での「当たり前」は外から見れば貴重な「#ほんもの」であることも。取材者は、その研究の面白さを自分なりに捉えて対象を撮影。

「#ほんもの」の魅力を最大限に伝えるため、試行錯誤で動画を編集し、編集作業用InstagramやGoogle Driveにアップ。

若手研究者に求められる越境力と融合力

◆越境力

【取材する側】

相手の研究について関心を持ち、質問し、理解し、要点を発見する力。相手の話や実物の中から「#ほんもの」を見出す力。

【取材される側】

自身の研究について、専門外の相手に対して、平易な言葉で、順序立てて、相手が理解できるように伝える力。

◆融合力

【取材する側、される側】

自身の研究と相手の研究に共通項を見つけ出し、同じテーマについて異なる角度からの視点を提供する力。分野を超えた価値観の融合。



▲大学院生同士の対話



▲貴重文献の実物を撮影

インタビューは一方通行のプロセスではなく、「する側」と「される側」の相互作用によって、より深く核心に迫ることができる。

取材を通して「取材する側」の大学院生と「取材される側」の大学院生双方の越境力、融合力が培われ、将来の幅広い研究活動の土台形成ができる。

越境力や融合力は、日本学術振興会特別研究員やフェローシップの申請書作成、外部資金獲得、一般市民へのアウトリーチ活動など、多様な場面で活用することができる、若手研究者にとって必須の能力。

制作フェーズ③ 制作会社との協働

編集

株式会社スペースタイム



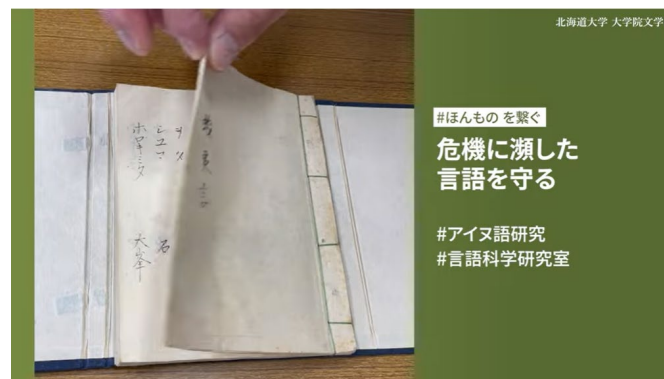
主な担当者

高知尾 理 氏

- ◆ディレクション
- ◆Googleサイト制作
- ◆動画構成、編集

動画内容

少しだけ
お見せします。



高知尾氏のコメント

今回の動画制作は制作のプロセスそのものに価値がある**プロセスエコノミーの試行事例**といえます。複数の人が撮影を行ったことで、**ひとつの映像に多様な物語（視点）が同居**したという点でそれが形になりました。

広報において重要な、映像を作るプロセスにおいて発生し得る**人的ネットワークの広がり**自体の価値を認識していただけたのではないのでしょうか。



実は、、、

高知尾氏は岐阜県飛騨市に拠点を置いています。動画編集前に訪れた文学院訪問で得たインスピレーションをもとに、編集に関わる業務の大部分はリモートで効果的に行われました。

完成した動画そのものだけでなく、制作のプロセスや新たに形成された人的ネットワークの広がりに価値がある。

活用フェーズ

広報媒体

- ◆文学公式ウェブサイト
- ◆文学公式SNS
- ◆北海道大学基幹サイトの大学院総合サイト
- ◆文学院大学院生募集ポスター

全体説明会動画

文学院院长挨拶



文学院概要説明（文学院の紹介と概要説明）



文学院「#ほんもの」紹介動画



▲ オンラインでの大学院進学説明会ページ



▲ X

▲ Instagram



▲ 大学院生募集ポスター

反響

- ◆教員からの高評価（アップテンポで軽快な音楽、若者らしい観点、多彩で魅力的な研究分野）
- ◆オンライン大学院進学説明会前後に視聴回数が急激にアップ

URAが得られたこと

- ◆教員、大学院生、学外者との関係強化
- ◆「#ほんもの」は、実物のみならず、研究を通しての喜びや苦勞、人とのつながりといった、目には見えないものの中にも存在しているという気づき
- ◆北大文学のコアコンピタンスの再認識
- ◆高価な撮影機材やプロカメラマンを手配できなくても、スマートフォンでかなりのことができるという手応え
- ◆制作会社との協働による動画制作プロジェクトの経験

成果と今後の課題

成果

- ◆若手研究者の越境力、融合力の土台作り
- ◆制作過程において生じる人的ネットワークの構築
- ◆北大文学院の魅力の再発見と外部への発信

今後の課題

- ◆撮りためたショート動画の研究室への還元
- ◆動画撮影スキルの向上
- ◆動画作成依頼への対応